

夏期の出水に備えて釧路川の水害タイムラインの運用訓練を実施

釧路川外減災対策協議会

- ◆ 釧路川標茶地区では、多くの関係機関参加のもとタイムライン作成検討会を設置し、平成30年10月に「標茶地区水害タイムライン試行版」を完成させています。
- ◆ 平成28年度の台風や昨年3月8日から9日にかけての大雨では、内水氾濫の発生や釧路川の増水に伴い、標茶町市街地の一部に避難指示が発令されており、水害発生時の対応も重要になります。
- ◆ タイムライン試行版の運用協定を締結している標茶町、気象台、河川管理者が中心となり、2回目となるタイムラインの運用訓練を実施しました。



台風による標茶市街地の浸水状況(内水)
(平成28年8月)



タイムライン試行版の完成
(平成30年10月)

- ・ 運用訓練 令和1年7月9日(火) 標茶町役場
- ・ 参加機関 標茶町(災害対策の各班)、釧路地方気象台、釧路開発建設部
- ・ 参加人数 約30名

- ・ 訓練は、地方気象台からの大雨説明会をきっかけに、河川管理者からの水位予測情報やホットラインなどの情報連絡を参考に、標茶町の各対策班がプレイヤーとなって訓練を実施しました。
- ・ タイムライン試行版は、堤防決壊の3日前からの事前防災行動をステージ1から6まで設定しています。今回の訓練は、ステージ1から4までの約3日想定を実時間の3時間に縮めて実施しました。
- ・ ステージ4は釧路川の水位が避難判断水位(警戒レベル3)を超過し、内水氾濫に対して避難勧告が発令されている状況です。



状況の付与
訓練の進行



タイムライン
に基づく対応
本部への報告



標茶町各班の対応訓練の様子
(訓練プレイヤー側)



災害対策本部における訓練の様子
(訓練コントローラー側)
標茶町・地方気象台・河川事務所

訓練参加機関(プレイヤー)		訓練ダミー機関
標茶町	災害対策本部	標茶消防署
	総務班	弟子屈警察署
	管理班	建設業協会
	住民班	陸上自衛隊
	保健福祉班	町内会(住民)
	建設班	北海道
	水道班	報道機関
教育委員会	維持業者	
釧路地方気象台	委託業者	
釧路開発建設部	その他	

運用訓練の参加機関

訓練を踏まえ、水害時における初動対応の確認・検証、対応上の課題・問題点を抽出するなど必要に応じてタイムライン試行版を見直していきます。